

11月

霧島市立持松小学校

令和5年11月20日

かがやけ！持松っ子

咲かそう！心に体に 自分の花を
《やさしさの花 かしこさの花 たくましさの花》



落ち葉から考えた全校朝会のタネ

校長 後藤 豊仁

11月に入っても記録的な暖冬で、片付けていた衣装箱から、慌てて半袖のポロシャツを引っ張り出しましたが、2週目に入ると、一転して真冬を感じさせる冷え込みになってきました。



それに伴い、木々に囲まれている本校の周りには、落葉樹の葉がこの時とばかりに落ちてきて、掃いても掃いても翌朝には、同じ状態になり、無力感を味わう日が続きます。

学校正門前の広場には、ブナやイチジク、カエデなどの木が植えてありますが、その木々とイチヨウでは、落葉のタイミングが少し違います。他の木々の葉が概ね落ちきった後にイチヨウの葉が落ちてくるので、余計残念に感じます。

しかし、これが自然の摂理であり、こちらの思うようにいかないことは当たり前です。木はそれを忠実に守っているだけのことなのです。

先日、体育館駐車場の横にあるイチヨウの葉が山のように落ちていて、すぐ下の歩道一面が黄色一色に染まったことがありました。葉を集めるブロワが故障していたこともあり、「これを集めるのは一苦労だ。」と、ややうんざりしていたところ、



一緒に作業していた職員が、「以前いらっしゃった〇〇先生は、この光景を見ると、『イチヨウのじゅうたんみたい。』と感激され、すぐに子どもたちを呼んできて、一緒に写真を撮っていましたよ。」と教えてくれました。

た。

人はつい自分の視点から物事を捉えがちです。私もその類いで、イチヨウの葉の件でも、『学校の周りをきれいにする』という点でしか見ていなかったことを反省することでした。

翌日に全校朝会が計画されていました。本当は子供たちに別な内容で話をするつもりでしたが、落ち葉の多いこの時期だからこそ伝えられることがあるのではないかと考えて、以前、担任をしていた時に知った【葉っぱのフレディ】という絵本の読み聞かせをすることにしました。

太い木の1枚の葉っぱとして生まれたフレディが、仲間の葉っぱたちと春夏秋冬を過ごすというあらすじです。多くの葉っぱの仲間たちと、夏は人に木陰をつくったり、秋は紅葉してきれいに色付いたり楽しい日々を過ごしていたフレディですが、ついに冬を迎えます。葉っぱの一生を終える時です。



親友のダニエルと最後の2枚になったフレディは、「死ぬこととはどういうことなのか。」を物知りであるダニエルに尋ねます。そこでの会話で、「今生きていること」や「死ぬこと」の意味について考えさせてくれます。子どもたちは、私が読んでいる間、じっと、そして真剣に聞いてくれました。

最後に、実際の落ち葉を1枚手にしながら「葉っぱには葉っぱの一生があり、落ち葉になってその命が尽きて、次の命を育てるために役立っているんだよ。」と話しました。

今は分からなくても、子どもたちの心の隅に引っかかり、ふとした機会に今まで何も思わなかった落ち葉を見て、何かを感じてくれたり、大人になったときに読み返して、そういう話だったんだと、改めてその内容の深さを慮ったりしてくれるといいなあと思いつつ、今朝も落ち葉集めに精を出すことです。

鹿児島国際大学生との交流会

11月14日(火)に、鹿児島国際大学生の4年生14名を迎えて交流会を実施しました。学生は、この日をとても楽しみにしていた子供たちと一緒に授業をしたり、給食を食べたりしました。



「いつもとちがって、とてもにぎやかでした。」「大学生の劇がとても楽しかったです。」などの子供たちの感想が聞こえてきました。

今回来校した学生の多くが4月から県内の小学校の教壇に立つそうです。今回の体験が貴重な財産になるのではないのでしょうか。



12月行事予定

- 1日(金) 人権集会・校内人権週間(～7日)
- 5日(火) AEA
- 7日(木) 第2回学校評議委員会
(期日変更可能性あり)
- 8日(金) 食に関する指導・命の教育の日
- 9日(土) 土曜授業
- 13日(水) 移動図書・AEA
- 14日(木) クラブ活動
- 15日(金) 昔のこと伝承活動
(門松・しめ縄作り)
- 22日(金) 終業式・大掃除
- 23日(土) 冬季休業 ～1月8日(日)
メディアコントロールデー